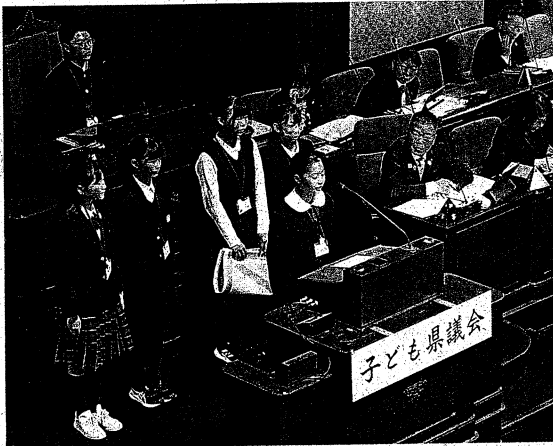


県議会

子ども議員 県政に意見

制度導入を提案

子どもが県政への意見や提言を表明する子ども県議会が25日、大津市の県議会議場で開かれた。子ども議員が登壇し、平日に学校を休んで保護者と校外学習をする制度や、性的少数者が暮らしやすい社会に向けた工夫を堂々と発表した。



滋賀をより良くするためのアイデアや意見をまとめ、質問する子ども議員(県議会議場)

子ども県議会は、子どもの権利条約が保障する「子どもの意見表明権」を踏まえ、毎年開催している。県内の小学4年から中学3年

草津市の小学6年川口司誠さん(12)は、

土日曜も働く父親となかなか出かけられないとして、子どもが平日に学校を休んで校外で学習した際に欠席扱いしない「ラーケーション」と呼ばれる制度の導入を提案した。福永忠克教育長は「全ての子どもが家族と一緒に幸せな時間を過ごせるよう、皆で考えていきたい」と答弁した。食事をしながら琵琶湖を体験できる湖上レストランや、高齢者の買い物や外出を助けるアプリの制作といった提案もあった。

(岡本早苗)

R5.12.27



朝日 中日 産経 毎 朝 夕